

受講者アンケート集計（他大学）

演習科目：冬のフィールド管理演習

担当教員：加藤正人 他

実 習 日：平成 27 年 2 月 3 日（火）～2 月 6 日（金）

受講人数：11 名（京都大学大学院 2 名、筑波大学大学院 8 名、東京農工大学 1 名）

1. 演習の満足度について

大変満足	満 足	普通	不満	大いに不満
9	2	0	0	0

2. 今回の演習で学んだことを 3 つ挙げてください。

- ・歩くスキーの滑り方、山の登り方、技術など…3 人
- ・雪上動物足跡の見分け方…2 人
- ・雪かき作業時 注意点・やり方など…2 人
- ・雪かきの難しさ、大変さなど…3 人
- ・雪国の気候
- ・スキーの難しさ
- ・雪のおもしろさや危なさ
- ・規則正しい生活（規律ある生活をする、1 日の時間をたくさん使えること など）…2 人
- ・雪のある森には、動物の足跡などその森ならではの研究ができるように、雪ならではの研究があること。
- ・雪国での生活は大変でつらいことばかりではない。自然と上手に関わりながら、その自然を楽しむ暮らしている。
- ・クロスカントリースキーは面白い。夏ではスイスイ行けないような場所？にも行ける。
- ・冬は（雪は）動物を身近に感じられる。
- ・森⇄草原 相互転換すること
- ・雪国での生活など（楽しさ、大変さ、美しいところ、工夫）…2 人
- ・アニマルトラッキングの楽しみ方
- ・生物学的な視点（動物・植物の視点に立って(?)自然を観察すること）
- ・菅平という土地の地理的・生態的特徴
- ・普段の研究対象であるほ乳類が生きていくためには、植物をはじめとする他の生物の存在がとても大切であること。
- ・フィールドワークは体力を使うので、もっと運動しようと思った。
- ・山を歩くというのはどういうことかを知ることができた。
- ・うまくできなかったときは、人にコツを聞いた方がいい。
- ・スノーシューはしっかり足にはめないと、外れる。
- ・スノーシューをはくと足が雪にしずみにくくなり、スキーをはくと歩くよりも少ない力で山を進める。
- ・雪かきは無心に作業できて、達成度も目に見えるし、楽しい!!
- ・フィールドを見て、人と話をする、自分の研究に対するヒントをたくさんもらうことができた。
- ・フィールドサインの同定能力が足りないことを認識することができ、また新たに教えていただいたことで見分けられるようになったサインもあった。
- ・草原・森林の形成について
- ・雪景色の美しさ
- ・雪の中で移動することの大変さ

3. 今回の実習で良かったことを二つ挙げ、その理由を書いてください。

- ・交流会でコミュニケーションできた。(刺激をうけた。これまでであったことのない研究分野の人と会って、おもしろい話を聞いたなど) …2人
- ・ペンションでご飯の間、毎晩飲み会の間、楽しかった。
- ・予想より転ぶ回数が少なかった。先生たちの熱心な指導。
- ・スキーの技術に触れることができた。
- ・スノートレッキングの楽しさと植生に関する知見を学習できた。
- ・雪ならではのアクティビティ(クロスカントリー、スノーシューなど)ができたこと。
(スノースポーツのおもしろさや森林のおもしろさが学べたため)
- ・他大学の学生と交流ができたこと。(あまりない機会なので良い体験ができた、話をするだけでも新鮮で面白い など) …3人
- ・地元の方との交流もいろいろな話が聞けて良かった。
- ・ペンションでの交流。一番雪国での生活というものを身近に感じるが多かった。
- ・雪でいっぱい体験できること(雪の経験がない人にとって非常にいいチャンスだと思う)
- ・ペンションでの雪かき(雪国での生活について勉強になると思う)
- ・早寝早起きができたこと。(普段は夜更かしして、昼まで寝ているから)
- ・それぞれの分野の専門家・エキスパートの方々が熱意を持ってわかりやすく指導して下さったこと。
普段座学では学べないようなことが体験でき、その魅力も大変ストレートに伝わってきたため。
- ・他大学・異分野の学生が参加していたこと。
上記のような学生とは日頃一緒に授業を受けたり交流することがないので、刺激も受けたし純粋に楽しかったため。
- ・野外で研究するのはどんな感じかを少し体感することができた。自分の適性を考えさせられたが、具体的にイメージがしやすくなった。
- ・青年の家が予想以上に暖かく、ごはんがおいしく、過ごしやすかったこと。
- ・ペンションで食べたケーキ、料理にほうがとろけそうになったこと。
- ・ペンションで出してもらった昼飯がとても美味しかった。
- ・実習に対してひとつひとつの説明が非常に充実していた。
- ・座学が少なく、体験が多かったため、非常に中身が濃い実習であった。
- ・強制的に交流会の時間が設けられていたり、班の割り振りが考えられていたり、普段関わりにくい人たちと話すことができ、いろいろな話を聞いた。

4. 今回の実習で嫌だったことを2つ挙げ、その理由を書いてください。

- ・お風呂の時間が少ない。人数が多くて、利用時間に混んでいた。
- ・往復交通不便。かなり時間かかった。
- ・コインランドリーの洗濯機が臭い
- ・雪の中での集団行動は、急がなくてはならない場面もあったため、筋力がついていなくて辛いこともあった。
- ・早朝に部屋や廊下が寒いことがやや嫌であった。
- ・3日目のスノーシューで歩く時、後から合流するグループだったが、なかなか本体のグループが来ず焦った。
- ・男女同じ洗面所を使うこと。(理由はないが違和感があった)
- ・お風呂の時間が短い。(ひどくあわただしかった。始まる時間を早くすればよいのではないかな? 帰ってすぐ入りたいなど) …2人
- ・普段、大人数で共同生活をするのが無いので、大変な点もありました。
- ・講義がお風呂・夕食の後だったため、とても眠かったです。
- ・つくばからの移動がやや大変だった。(もう少し参加者が増えればバスを借りたりできる?)
大きな荷物を持って、何回も乗り換えしなければならなかったため。
- ・スキーではもう少し初心者やつまづいてしまった人へのフォローがあっても良かったのではないかなと思ったが、そこが面白さでもあったと思う。
- ・3日目の朝、余裕がなかった。掃除等については、前日にもう少しガイダンスがあったら良かった。
- ・3日目のスノーシューのときは疲れMAXで足が進まなかった。
- ・スノーシューで歩くコースは行きと帰りでもっと違って良かったと思う。いろんな景色がみれる。
- ・部屋が人数に対して狭かった。
- ・スリッパが小さくて履きにくかった。
- ・クロスカントリーのコースが初めからかなり激しかった。

5. 実習についての感想、要望

<感想>

- ・毎日、団体活動でほかの人たちとの交流もできたとし、おもしろい話も聞けました。この授業を研究室の同級生に紹介したいです。結構汗で濡れたけど、得てたと思います。
- ・非常に充実した実習内容で、冬の高原での共同生活を楽しむことができた。しかし、3泊4日のフィールド活動の中でクロスカンントリーを1日しかできなかったのが心残りである。
- ・雪かきに関しては、雪国でペンションを営む方々との交流は貴重だったと思った。
- ・普段接しない雪を使った様々な活動ができて良かった。初めて行う活動ばかりで、大変なこともあったが、楽しく行えた。雪ならではのスポーツや、雪に対応した生活を学ぶことができた。
- ・雪が大量に降る地域でペンションを営んでいる方々の生活が不便なことも多そうであったが、雪かきや降雪車、家の造りなど、雪に対応した生活をしていて、楽しそうだったと思った。そのような方々の話が聞けて勉強になった。
- ・森林の研究の話が興味深かった。雪のない地域では聞いたことのないような内容で新鮮だった。
- ・アニマルトレッキングや森林観察は楽しかった。
- ・いろいろな方と交流ができ、アクティビティも楽しく行うことができて良い体験だった。
- ・雪国はつらい、大変というマイナスなイメージを抱いていたが、この実習を通してそのイメージ・印象は変わった。雪かきに行ったペンションでの交流では、冬の厳しい自然環境の中でも、その自然と上手につき合い、時には楽しむ雪国の生活の一部を垣間見ることが出来たと思う。住居へのこだわり、野鳥とのふれ合い、とても印象に残った。
- ・歩くスキー・クロスカンリースキーの面白さを知った。雪に覆われた大地をスキーで進んでいくのはとても楽しかった。動物の足跡を見て動物を身近に感じる楽しみ方にも（少し）共感できた。
- ・研究に追われる毎日から少しだけ離れ、このような初めての体験、自分のイメージを大きく変えるような体験をすることが出来て本当に充実していた。
- ・ぜひこの実習を来年度以降も沢山の学生に経験してほしいです。
- ・実家にも雪が降るが長野みたいに非常に厚くまで積もらない。3泊4日の実習でいろいろ勉強・経験した。一番実用なので雪かきで、雪かき方法・道具の使い方など生活に役に立つと思う。
- ・ペンションのオーナーさんに招待され、家庭が旅館と思い、いつかチャンスがあったら一度でも泊まってみたい。
- ・実習へ参加する前にスキーに2回行ったが、あまり姿勢正しくできなかった。ここで先生が教えてくれて勉強になった。それにリフトじゃなくて、スキーで登って、登り方良くできるようになった。あまり客がいなくて滑られて初めて体験した。非常にいい経験になった。
- ・町田先生、田中先生の講義で動物の足跡、草原⇄森の転換で勉強になった。えさは全然知らなかった。
- ・今回冬に来て、すばらしい白い雪国生活を経験した。ここは自然が豊かで夏もきっと楽しいと思う。また、チャンスがあったら夏にも来てみたい。
- ・2年生からD3まで幅広い年齢層の受講生で、大学もバラバラで、とても良い交流の機会となりました。
- ・毎日バランスのとれた食事を決まった時間に3食食べ、早寝早起きをして、外の美しい自然を見て、きれいな空気を吸い、心身共に清められた気持ちです。
- ・動物や鳥の姿や足跡、また植物や森の様子は先生のお話を聞いた後に見ると、以前よりも壮大で興味深く思えました。
- ・初めてクロスカンントリーやスノーシュー、雪かきで実際に雪国の生活に触れられた点でも、実りある演習であったと思います。
- ・たくさん動いて活動したので、毎回のごはんがとてもおいしく感じ、食べ過ぎなくらいたくさん食べてしまうこともありました。
- ・今回の実習は、自分にとって「気づき」を得られたという点で非常に有意義でした。その気づきは、生物学的に自然を観察する視点、都会（街）以外に住む人の目線を感じることができたということです。大学院で都市計画を学ぶ私は知らず知らずにうちに人間中心、都市中心の考え方に凝り固まって非常にせまい視野で世の中を見ていたことに気づくことができました。今回学んだ生物学、山村の視点は自分の専門にも活かせることもあると思いますし、豊かな人生を送るためにも重要だと感じました。
- ・将来、フィールドワークのような事がやりたくて、今は実験室での実験しかしていないので、少しでも雰囲気を知り、技術を習得したいと思って受講しました。実際に雪の中を歩いてみて、思った以上に移動が難しく、すぐに飛び込める世界ではないことを痛感しました。
- ・先生や仲間アドバイスをもらったり、スキーとテニスが好きで移住してこられたというペンションのご主人のお話を聞いたりして「大変」ばかりではないことも学びました。

- ・スキーは、最初はもうムリだと思ったけれど、練習するうちに少しコツをつかめた気がします。
- ・アニマルトラッキングや植物の講義はとても勉強になりました。
- ・信大の人もしろんな専攻、学年の人が混ざっていて、森林専攻の人ばかりじゃなくて楽しかった。ただ、他大学生はほとんど筑波生だったので、もっと多様な大学の学生がいても良かったかなと思った。
- ・たくさん体を動かしてリフレッシュできたのが一番よかった。年をとってくると子どもの頃の気持ちを忘れがちだが、雪の中で、わーわーきゃーきゃー騒ぎながら、みんなで初の山スキーを習って、たくさん転んで失敗して、でも笑って、とても無邪気に過ごせた。競わず、争わず、失敗しても全然恥ずかしくない、責められない環境って、なかなか無いと思う。良い意味でリセットできたので、この気持ちを忘れず、これからも過ごしていきたい。
- ・3泊4日の実習であつという間に終わってしまったが、非常に多くのことを学ぶことができた有意義な実習だった。今後の自分の研究テーマ次第では冬山に頻繁に出かけるかもしれない。
- ・今回実習を受けたことで、山スキーの技術も上がり、基礎も学べたので大きな自信になった。
- ・雪かきも一歩間違えば大事故につながるが、危機回避の方法などもレクチャーしていただけたので、今後雪国で生活することになっても大丈夫だと思う。
- ・他大学他学科から一人での参加ということで、やや不安を感じていました。しかし、よく考えられたプログラムと周囲の優しい学生さんたちのおかげで特に問題なく、むしろ楽しく実習を行うことができたように思います。
- ・実習の中身につきましては、非常に素晴らしいものであったと思います。特に私は雪も山も森もなじみがなかったため、驚きと発見の連続でした。
- ・加藤先生からはスノースポーツの楽しさを、ペンションのオーナーさんからは雪国暮らしの大変さと楽しさを、そして田中先生からは雪に包まれた森の中でたくましく生きている生き物たちについて、教えていただきました。
- ・今回の体験を通して、雪国でのバイオデバイス利用そして森林資源利用における人間と森との付き合い方についての考えを深めていけたらと考えています。

<要望など>

- ・今回筑波大での募集は院生向けのものでしたが、学群生も授業として受講できるようにしたら良いと思います。
- ・私自身の問題でもあるのですが、他の学生と比較するとあまりにも実習慣れしていないと感じることが多々ありました。例えば、荷物の量など私の3分の1で済んでいる人もいるくらいでした。バスの座席などを考えると荷物の大きさに制限をかけたほうがいいのかもかもしれません。

受講者アンケート集計（農学部）

演習科目：冬のフィールド管理演習

担当教員：加藤正人 他

実 習 日：平成 27 年 2 月 3 日（火）～2 月 6 日（金）

受講人数：14 名（森林科学科 10 名、食料生産科学科 4 名）

1. 演習の満足度について

大変満足	満 足	普通	不満	大いに不満
9	5	0	0	0

2. 今回の演習で学んだことを 3 つ挙げてください。

- ・クロスカントリーの技術、やり方、楽しさ など…2 人
- ・動物の足跡、見分け方、様々な情報が読み取れる など…7 人
- ・雪かきの大変さ
- ・豪雪地帯の生活…2 人
- ・日本の草原
- ・冬の動物たち
- ・信州は標高の高い山がいくつも連なっていて、進化（適応進化）を研究する宝だということ。
- ・クロスカントリーは、冬の山を観察・調査するにはとても良い方法で、冬で雪で覆われ、やぶ等で見えなくなって、行けないところも行けるので便利で楽しいということ。
- ・冬に動物は姿をあらわさず、いないのではなく、雪の上についた足跡を見ることでどんな動物が生息しているか、ふん等を調べ何を食べているかまで分かる。
- ・他大学について
- ・集団行動の大切さ
- ・雪国（雪山）での暮らし（苦労、積雪による生活の大変さ、特殊なこと など）…5 人
- ・雪上歩行の種類と実践、歩き方 など…2 人
- ・草原の遷移
- ・歩くスキー（クロスカントリー）の難しさ…2 人
- ・スノーシューの便利さ
- ・アニマルトラッキング
- ・歩くスキーの楽しみ方
- ・菅平の自然の良さ
- ・自然を身近に感じた
- ・知らない人との交流
- ・雪山は楽しいこと
- ・雪国での生活は雪と共にあり不便と楽しさがある。
- ・鳥・獣・虫など多くの生物もまた雪と共に生活している。
- ・雪での厳しさは人を強くする。
- ・スノーシューでの活動
- ・多雪地域の雪かき事情、現状 など…2 人

3. 今回の実習で「良かったこと」を 2 つ挙げ、その理由を書いてください。

- ・色々なことをやっている方と交流できて勉強になった。
- ・自然の中で遊び、学ぶことができた。
- ・クロスカントリー（普段グレンデでは体験できない遊びができた、スキーとは全く違うスポーツの魅力を感じることができた）…2 人
- ・毎晩の交流会（初対面の方々と仲良くなれるいい機会になった、初対面の人と多く話すことができた）…2 人
- ・休息時間が多く、実習後自分の中で考えおとしこむ時間がとれたこと。
- ・交流会で普段絶対話せない人と話せ、仲が深まったこと。
- ・他大学の学生と交流を深めることができたこと。信大生以外の学生が自分の大学で何を学んでいるのかなど、知らないことがいっぱいあり興味深かったから。
- ・雪国でしかできないスノースポーツ、スノーシューでの野生観察ができたこと。日常生活では体

験できないことが体験できたから。

- ・積極的に実習に参加する人が多かったこと。(自分含め)(刺激的で楽しい実習であったから)
- ・スキーやスノーシューの時間を十分に設けてもらったこと。
- ・田中先生の植物生態のお話がとても興味深く、聞けて良かった。
- ・交流会では他大の人と学乱をすることができてよかった。
- ・スキーやスノーシューを使って雪の上を移動できたこと。(雪があると行動が制限されるのではなく、逆に行動範囲が広がることがわかったから)
- ・自分の専門と違う学問について、分かりやすく説明してもらえたこと。(生物学も面白いと思ったから)
- ・雪の中でたくさん動けた。
- ・ペンションでの昼食。(研究をしている人たちの熱心な話を聞いた)
- ・ペンションでのご飯がおいしかった。
- ・他大学や他学年、菅平の地域の方々と交流することができ、有意義な時間となった。
- ・生活(規則正しくできた)
- ・豪雪地域での生活や自然を体験できたこと。(普段は経験することができないので)
- ・知らなかった人と交流できたこと。(他大学の人と関わる機会はあまりなく、同じ大学でもつながりが増えたので。)
- ・アニマルトラッキング(色々な動物の生態に触れることができたから、野生動物に新しく触れることができ感動した) …2人
- ・交流会(他大学と話す機会には農学部ではあまりないので、新鮮で楽しかったし、また勉強にもなった)
- ・雪はね作業(現地のペンションの方と交流しながら色々な話をできたから)
- ・スノーシュー体験(初めてだったので、楽しかった。どのようなものを知ることができた)

4. 今回の実習で「嫌だったこと」を2つ挙げ、その理由を書いてください。

- ・最終日の掃除割り振り。朝食準備のことを配慮して欲しかった。
- ・食事時間が短い。「ごちそうさま」をした後に食べることがしばしばあったので、もっとゆっくり話をしながら食べていたかった など) …2人
- ・起床時間(一日の予定を通してみてももう少し遅くできたのではと感じた、朝が早く講義中眠くなることが多かった など) …2人
- ・スケジュールのタイトさ(やることが多すぎてばたばたすることが多かった。時間が限られている入浴、最終日の掃除、帰り支度の両立など急いでも結果遅れてしまった)
- ・ふだをどのときにつけるか分からなかったので困りました。
- ・ペンションでの食事の時間等が短く、もっとペンションの方と話したかったです。
- ・決まりを守らない。(集団生活であるので)
- ・ペンションの雪かき後にスノーシューハイク集合する時、1時間ほど待ったこと。
- ・交流会は自由参加にすべきだと思う。(早く寝たかった。でも交流は大切なことだと思うから、なくす必要はないと思う)
- ・実習中は足が冷たく、大変だった。
- ・雪が靴の中に入ったとき。(気持ち悪かった)
- ・日焼け(雪による日焼けは予想以上でヒリヒリした)
- ・退所の準備の時間が短すぎたこと(朝食当番とかぶると時間までに終わらないので。早く終わったところに手伝ってほしかった)
- ・スキーの斜面の上り下り(足に滑るものをはって斜面を歩くのは怖いから)
- ・朝のつどい(人の集まりは悪いし、スケジュール確認は朝食時で良いと思う)
- ・夜の授業。翌朝でも大丈夫だと思う。
- ・3日目午後のスノーシューの際、説明が全然聞こえなかった。後ろの方にいると意味がなかった。
- ・掃除時間が短かった。割り振りなども、人数・ご飯の用意の有無なども考慮してほしい。

5. 実習についての感想、要望

<感想>

- ・他大学との交流もあり、非常に楽しく過ごすことができた。
- ・雪上ならではの楽しみ方ができたし、初めての体験をたくさんできた。
- ・2日目のスノーシューで歩いた道は、クロスカントリーでも滑ってみたいと思えるほど興味を持つことができた。静岡では絶対にできない経験だった。
- ・最終日の足跡を探すフィールドワークも興味深く、伊那に戻ったら自分でも探してみようと思った。

- ・夜の交流会では多くの人と話ができ、特に、今回の交流会ではマスター、ドクター、教授の方もいたため、マスターやドクターについて知ることができ、専門的な話をすると、自分の不勉強さを知ることができて、とてもよい刺激になった。大学が春休みになり、この熱が冷めないように勉強していきたい。
- ・他大学と交流できるような講義に参加したいと思う。
- ・長野県に住んでいてもなかなか体験できない雪かきなどができたこと、またそれを通して地元の人々と交流することができ、貴重な体験ができた。
- ・楽しむときは楽しみ、学ぶときは学ぶという切り替えもはっきりしていて、とても充実した3泊4日を過ごすことができた。
- ・他大学の研究に興味の沸く講義もあり、今後の自分の活動に影響を与えてくれそうで、高揚感を得ることができた。
- ・普段の授業だけでなく、このような実習の良さを知り、積極的に活動していこうと思った。
- ・最初は、あまり目標をもたず来た実習でしたが、初めて経験することが多く、今後の進路を考えると時や研究室選びの参考にしたいと思いました。
- ・クロスカントリーは初めてで、コースのないスキーをどうすればいいかわからなかったけれど、冬の上を滑ることができてとても楽しかったです。転んでばかりでしたが、コースのないスキーで行きたいところに行ける魅力があり、爽快感を感じました。
- ・伊那はあまり雪は積もることもなく、20 cm前後ですが、須坂は2mくらいの累積で積もるということで、時にお年寄りの方だと雪かきが本当に大変だということが身にしみました。私でも手がしびれたり、肩に力が入らなかったりと、最後までやったあとはとても疲れました。高野さんがする際はとても休憩が必要だし、時間もかかり大変だと思います。実習や他の機会にも是非やりたいと思いました。
- ・田中先生の研究内容にとっても興味を持ちました。標高と植物それから遺伝、進化と、森林では生物をあまり使いませんが、木でも適応変化がおきているか調査したいと思いました。
- ・今回の実習は初めてなことばかりで大変充実した時間を過ごすことができました。他大学の学生とも仲良くできるような時間もたくさん作ってもらい、本当に楽しかったです。
- ・集団生活においても、ルームメイトとの助け合いや時間を厳守しなければならないことなど大切なことを数多く学ぶことができました。何より誰も大きなケガをしないで無事に実習を終えることでほっとしています。多くの仲間ができた今回の実習はとても良い思い出になりました。
- ・初めてづくしの実習で3泊4日はあっという間に過ぎていきました。雪上歩行では、歩くスキーとスノーシューを体験させていただき、視野や行動範囲が少しばかり広がったように感じます。
- ・アニマルトラッキングでは、私は大学で山歩きをしますので、新たな山歩きの楽しみ方が増えました。山域による違いなどを感じられるような観察ができたらなど、夢が膨らみます。
- ・実習中は、共同生活を楽しむことができました。青年の家の方をはじめ、先生方、TAの方に感謝致します。
- ・クロスカントリーでの歩くスキーやスノーシューハイク、豪雪地域での雪かき、アニマルトラッキングと日常では体験しないことを経験することができて有意義でした。
- ・ペンション（ビスターリ）での雪かきは想像以上の重労働で体的には辛かったが、ペンションのオーナーと話したり、犬と遊んだりと楽しむことができました。
- ・3日目の夜、町田先生と田中先生の講義は動物の足跡やフンについて、植物生態についてと興味を持たされました。
- ・冬の菅平は多少なりとも感じることもできたので、春、夏、秋と違った菅平の姿も見たいと思いました。
- ・雪の上での実習は、普段受けたことがなかったから、とても新鮮だった。スキーは楽しかったけれど、全然うまく滑ることができなかった。うまく滑るには練習して技術を身につける必要があると思った。スノーシューは初心者の方でもうまく移動することができた。スキーに比べ、スノーシューは体力を使うかもしれないが自分にはこちらの方が向いていると思った。ただ移動速度はスキーの方が速いので、機会があれば練習してみたいと思った。
- ・自分は工学系なので生物学はあまり好きではなかったが、今回田中先生の研究の話を聞いて、生物学も面白いなと思った。ある結果を知るために、あらゆる手法で一つのテーマに対してアプローチをされていてすごいなと思った。その実験方法などを聞いていると我々工学分野とも本質的には同じなのだなと思った。理科系の中でも様々な分野があるが、この講義を通して生物学もおそらく他の違う分野もきっと面白いのだろうなということを知ることができた。
- ・ものすごい雪と寒さという伊那に住んでいる身には一見辛い環境がスキーや足跡によって楽しいフィールドに早変わりすることをたくさん遊んで体験することができたと思う。特に歩くスキーは、雪上をすばやく静かに移動できる、細く軽いので持ち運びが楽、斜面を登る時も楽しい…などまたやりたいと思った。

- ・クロスカントリーに始まり、スノーシューやアニマルトレッキング、雪かきなどこの実習に来なくては体験できないような事ばかりだった。
- ・雪かきの作業はきつく、大変だったが、ペンションの方々との交流はとても楽しかった。ペンションの雰囲気や食事も素晴らしくまた来たいと思った。
- ・夜の交流会も他大学や他学年の方々と交流することができ、とても充実した3日間になった。
- ・3泊4日という少し長いかなと思っていたが、初めてやるが多く、また、色んな人と関わられて、終わってみれば、一瞬だった。
- ・普段の生活でも雪は降るが、大したことないことが思い知らされた。冬の雪という環境を通して様々な経験ができ、すごくなった。ただ、学ぶだけでなく、雪を使い、多くの遊びもでき、楽しかった。
- ・早寝、早起き、三食ごはんという規則正しい生活から解放されるのは悲しい。
- ・全体を通して、この実習を取って良かったと思う。
- ・大変楽しい3泊4日でした。ただ雪国での生活を体験するのではなく、集団行動や交流会をすることで進行を深めるような内容が多かったのが良かったです。
- ・雪かき体験では、ペンションの方との交流や美味しい食事を頂いたことが嬉しかったです。
- ・クロスカントリースキーは最初全くできませんでしたが、少しずつ滑れるようになってきところで終わってしまったのが残念でした。
- ・先生のように滑りたいです。何より先生が一番楽しそうでしたね。先生方の研究は面白いものばかりで楽しかったです。
- ・実習であり、授業であるのだが、全体的に和気あいあいと楽しくやれて、あまりそういう気がなくてよかった。
- ・雪と触れ合う機会があまりないため、すぐに疲れてしまったが、休憩や予備時間が多くて、無理がないスケジュールなことは非常に助かったし、交流会を設けていただいて、他大学の生徒や先生と交流を深められたりしたのは、非常に良かった。
- ・TAや先生方が実習中に、割と多くいたので、質問をすぐにできたり、助けてもらったりできたため、実習中も不便なく新たな知識を得ることができた。
- ・雪かきも地域の人と交流を深められて楽しかった。
- ・今回の実習を通して思うことは、参加できて良かったなということです。雪国での暮らしをより深く学べたことはいいい経験になりました。自分の実家も雪国なんですけど、それよりも雪の深いところに4日間いることができたことは、自分にとって大きな収穫です。
- ・大勢の人と接し、生活することは自分を強くするとともに自分に足りない部分を見つけることもできました。
- ・雪国での活動を他大学の学生とも交流しながら行うことができたのは、大変意味のあることがだと思った。普段知る事ができない分野について話をしたり、クロスカントリースキーやスノーシュー体験、雪はねボランティアなど色々な体験をできて、参加してよかったと思ったし、とても楽しくできることができました。

<要望>

- ・実習後すぐにお風呂に入りたいかったです。
- ・風呂の時間がもう少し長いとよかったです。
- ・スキーはスノーシューよりも技術が必要だと思ったので、もう少しスキーをやる時間があってもよいと思う。(3日目午後など)
- ・クロスカントリーはもう少し簡単なコースで滑りたいかった。
- ・朝のつどいをなくして欲しい。
- ・ご飯の際のくじの準備や、掃除の割り振り、入浴時間が延びればなと思いました。
- ・スノーシューの際も先生方の知識が全体に聞こえればなと思いました。